

「人権の花」を育てて表彰



「人権の花」運動は、高松法務局と香川県人権擁護委員連合会が主催で、命の大切さや相手に対する思いやり等の基本的な人権を尊重する精神を身につけることを目的として実施しています。

我が満濃南小学校も拠点校に選ばれ、緑化委員会を中心に四月から取り組んで参りました。

先日、その労をねぎらい、表彰していただくことができました。今後この活動を続けていきたいと思います。

「人権の花を育てて」

緑化委員長 三原 真理子

私は人権の花を育てました。水やり、草取りなど、毎日世話をしながら大きくなっていくのが楽しみでした。

あるころ、私はよく話していた友達と口をきかなくなり、とてもつらかった時期がありました。そんな私に、勇気をくれたのが人権の花でした。

人権の花を育てることで心がとても和み、優しい気持ちになっていくのが分かりました。そして、少しずつ楽しくなってきた、口をきかなくなっていた友達とも仲直りすることができました。

また、ふだんはあまり話をしなかった人とも、よく話をするようになってきています。

私は人権の花を育てて、本当によかったと思います。思いやりの心・親切な心・優しい心。花は自然にそんな心にさせてくれました。



(学校便り「南の風」第8号 NO1 より)

春咲きの花



人権の花壇に、早くパンジーが咲いて欲しいなあ。

クリサンセマムはどんな花かなあ？
苗が折れないようにやさしく植えよう。

学年で分担して、一本一本の苗をやさしく植えました。

ビオラ、クリサンセマム
パンジー、なでしこ など

